



第37回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】
吉川 和敏さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、永岡 奈々恵さんにご紹介いただいたこの方は、「信念を持ち、研究・開発をしているスゴイ人」とのこと。インタビューは大村信夫でお届けします。

自分の中に芯を持ち、何かにブレたりする事もなく突き進んでいく大切さ。そしてその中に介在する強い想い。一番大事ですが忘れてしまいがちだからこそ改めてハッと気付かせていただいた取材でした。

「吉川農園周辺には限界集落もあり何もしなければ終わってしまう。だからこそ畑を増やしていくことで地域の資源を守りたい。農地に向いている向いていないで判断するのではなく、出来る限り土地を活用して地域に貢献していきたい」と熱い想いを話されています。

「農業は最終的に勘でしかないから難しい」と笑顔で話す吉川さん。だからこそ面白い、と。現在もより美味しい作物を作るために常に試行錯誤。「農業は最終的に勘でしかないから難しい」と笑顔で話す吉川さん。だからこそ面白い、と。

モヤニンジン、ゴボウなどを栽培しています。現在ではサツマイモやニンジン、ゴボウなどを栽培しています。現在ではサツマイモやニンジン、ゴボウなどを栽培しています。現在ではサツマイモやニンジン、ゴボウなどを栽培しています。

今 回は大隅町のご出身で、吉川農園を経営されている吉川和敏さんにお話を伺ってきました。高校を卒業時、曾於市を離れ農機具メーカーに就職し、日本全国を単身赴任で飛び回りました。しかし「組織ではなく個人で働きたい」と思うようになり、曾於市にUターンを決心。ご実家の農業を継ぎました。が農業については全然分からなかったため東京農業大学の通信教育で学びました。現在ではサツマイモやニンジン、ゴボウなどを栽培しています。



協力隊の活動報告

早いものでもう師走を迎えました。あっという間に過ぎ去っていきますね。最近は大隅町岩崎に出来た「ゲストハウスやごろう」の開業支援をしています。紹介文の翻訳から掃除まで関わらせていただいておりますが、何かを皆で作るってワクワクしますよね。民泊を通して曾於市が活性化出来ないかと真剣に考えられているオーナーさんの想いを、微力ではありますがこれからもお手伝いをしていきたいです。もう年の瀬。2019年を迎えた時は曾於市に移住してるなんて想像もつきませんでした。今の自分は曾於市で年を越そうとしています。人生って不思議なものですね (By 美空ひばり)。皆さま良いお年をー！



大村 信夫